

CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

1

2022

vol.540



今月の
コーヒー

1月のおすすめ

サフラ ノヴァ (SAFRA NOVA)

—— ブラジル



年に一度のお楽しみ

今年のサフラノヴァは、高品質なコーヒーを産出するサンパウロ州の農園から収穫したばかりの新豆を船積。今回は新豆の中でも高品質なロットを選定。フルーティーで芳醇な風味の中に、確かな甘味とボディが感じられます。まさに、年に一度のお楽しみコーヒーです！

令和
四年
新年ご挨拶



し、以降高値相場が継続しています。

コロナ禍を経験し、コーヒーは「かけがえない飲み物」であると改めて分かりました。わたしたちの心を癒し、元気づけてくれる力を持つ飲み物。人と人の絆をつくり、コミュニケーションを育む役割を果たす飲み物。「在宅勤務の気分転換に、お気に入りの喫茶店で買った豆を自分で淹れてみる」「外出自粛で帰省できないから、両親にコーヒーを贈る」「緊急事態宣言解除後、友人との再会はいつものカフェで」。コーヒーにまつわる様々な物語が想像されます。

コーヒー、喫茶・カフェは人々の生活を豊かにするかけがえない存在であり、未だ大きな可能性を秘めていると考えます。シーエスコーヒーは「コーヒー&コミュニケーション」を合言葉に、一粒一粒のコーヒー

りを始めています。この先、今までの常連客様が戻ることに加え、新たなお客様を迎えることを期待したいと思います。

弊社としても「珈琲力でお客様を豊かに」をスローガンに、コーヒーが持つ多様な魅力を最大限に引き出し、お客様から求められる価値に応えられるよう、深みのあるご提案を実践して参ります。

新春からは昨年末に導入したワンドリップコーヒーの充填機が本格稼働を始めます。家庭用コーヒーの実績の伸びの多くをこのワンドリップコーヒーが占めております。單身世帯の増加、個食の日常化など好きなきに一杯ずつ本格的なコーヒーが楽しめることから、今後も大きな可能性を秘めた商品であります。将来弊社の中心商材になるよう努めますので、今までの商品同様ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

様々な活動が大きく制限され、厳しい状況が続きました。

コーヒー業界では、家庭用は菓ごも需要の継続により支えられる一方、業務用は感染症拡大防止対策にかかわる自粛要請の長期化により低調に推移し、感染拡大前の水準への回復には時間を要しています。店舗運営の現場では、持続可能な経営と感染症対策の両立に、並々ならぬご尽力をされていると拝察いたします。大変厳しい環境の中、お客様には価格改定にご理解ご了承いただき改めて心より御礼申し上げます。

コーヒー生豆相場は昨年7月のブラジルでの広範囲にわたるコーヒー生産地域での大規模な降霜により年初比の250%を超える水準まで高騰しました。その後も海上輸送網の混乱、ラニーニャ現象による中米の多雨、エチオピアの内戦などコーヒー生豆の安定的な供給を妨げる事象が次々と発生

二〇二二年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

引き続き終わりの見えないコロナウイルス被害に対しては、対策しつつ日常生活を取り戻していくというものになりました。飲食店には新しいルールが持ち込まれ、利用人数の制限や飛沫対策としてのパーティション設置、手指消毒剤の設置など新たな対応が必要になりました。行政からは営業時間の短縮を求められる一方で、衛生管理の徹底など、コロナ禍ならではの対応に追われた一年でありました。

外食でのコーヒーの需要が落ち込む中、家庭での消費は好調を維持しております。特にテレワークなど自宅で過ごすことが多くなり、自分で豆を挽いてドリップするなどコーヒーを楽しむという需要も増加しました。やはり、コーヒーは飲料の中でも魅力ある商品であることが再認識されつつあります。SNSをきっかけにコーヒーの新たな魅力に目覚めた若者が老舗喫茶店巡



代表取締役社長
服部 雄高

日頃よりシーエスコーヒーをご愛顧いただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により様々な影響を受けられたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い回復と事態収束を祈念いたします。

二〇二二年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の脅威に晒される一年でした。度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出により

に真剣に向き合い、おいしいコーヒーをお届けすることにこだわります。

感染症の収束が見えない状況が続きますが、ワクチン接種の浸透や新業の登場により徐々に回復へ向かうと考えられます。引き続き、全社一丸となって事業活動に取り組んで参ります。

本年も変わらぬお引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。



取締役営業本部長
徳田 政司

日頃より一方ならぬご愛顧をいただき、心より感謝申し上げます。

コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2022年
1月版

ラニーニャ現象で中米の減産懸念が再燃

コーヒー生豆 10年振りの高値

コーヒー生豆の国際相場は上昇が止まりません。一般レギュラーコーヒーに使用するアラビカ種の指標となるニューヨーク市場の指標価格は11月下旬、一時248.2セントと2011年10月以来の10年ぶりとなる高値がつかしました。一昨年同時期の120~130セント相場から見ると、ほぼ2倍の価格です。昨年7月に最大生産国ブラジルを襲った27年振りの深刻な霜害の後遺症を引きずる中、今度はラニーニャ現象が発生。コロンビアをはじめ中米各地では降雨が長引き、品質の悪化や減産の懸念が持ち上がっています。一方、先進国を中心に需要回復は順調です。コンテナ不足による海上輸送の混乱も相まって消費国の港湾在庫が減少し、品薄感が広がっています。この相場高はしばらく続くとの見方が強く、春に向け値上げの動きがさらに拡大する可能性があります。

発表!

美味しいコーヒーの店 2022

「美味しいコーヒーの店 2022」、認定店を発表!
認定店の詳細は、「美味しいコーヒーの店 2022」ガイドパンフレットをご覧ください。

喫茶・軽食 ドリーム 名古屋市北区成願寺1丁目4-29 tel.052-915-3054

COFFEE SHOP ばんぼう 名古屋市東区徳川1丁目9-23 tel.052-937-6985

エチオピアで内乱勃発

「モカコーヒー」市場から消える!?

モカコーヒーの主な生産国エチオピアで一昨年の秋に内乱が勃発。生産エリアへの影響は少ないとの報告ですが、国内物流、輸出へ大きな影響を及ぼし、日本へのコーヒー輸出がほぼ止まっている状況です。エチオピア北部ティグレ州のティグレ人民解放戦線(TPLF)と連邦政府軍の内戦。一昨年の10月頃からTPLFが攻勢を強め、「首都陥落」の可能性が増す中、2019年にノーベル平和賞を受賞したアビー首相は国民に対し「国のために犠牲を払う時が来た。祖国のために立ち上がり、共に戦場で戦おう!」との声明を出し、自らも戦闘服に身を包み前線にいる姿が放映されています。昨年10月以降、日本国内でのモカの商いは一切消え、現在は国内在庫を取り崩して賤売されています。この状況が続けば、日本からモカコーヒーが消える日が来るかも知れません。

登場に期待!

台湾産コーヒーに愛好家が注目

コーヒー産地といえば中南米諸国やアフリカ大陸の国々が一般的ですが、最近、台湾産のコーヒー豆「台湾珈琲」が愛好家の間で話題になっています。北緯22~25度に位置する台湾はコーヒーベルトの北限にあるため、気候や土壌、雨量など条件は揃っており、高品質豆の新たな生産地として注目されているのです。他生産国と比べ経済発展していることから、人件費など生産コストは高くなり、また国土が狭いため生産量は限られ、必然的に品質勝負となります。そこで完熟チェリーを手摘みで収穫したり、精選技術に科学的な要素を加えるなど、独特な品質を生み出すため試行錯誤を重ね、際立った風味のコーヒーを作り出しています。近い将来、日本の市場での登場が期待されます。

喫茶・軽食 ひこ

名古屋市市中川区吉津1-227

tel.052-431-1115

喫茶去いろはにほへと

愛知県岡崎市美合町西屋敷111-3

tel.0564-52-6601

珈琲館みるか

岐阜県羽島市上中町長間1096-1

tel.058-392-1656

CAFÉ H アッシュ

岐阜県恵那市長島町中野475-54

tel.090-5609-1885

農場カフェレストラン SaRaRa

三重県四日市市泊小柳町4-5-1
イオンタウン四日市泊1階

tel.059-327-5225

SCAJ2021 「持続可能な未来へ繋ぐ」 2年ぶりの開催で大盛況

アジア最大級のコーヒーイベント「SCAJワールドスペシャルティコーヒーカンファレンス アンド エキシビジョン2021」が11月17日～19日に東京ビッグサイトにて開催されました。昨年は中止のため、2年ぶりの開催です。来場者は3日間で19,334名と前回2019年の約半分に減ったものの、待ちに待った開催に初日は入場に1時間待ちの行列ができるほどの賑わいでした。今年は各国のコーヒー関係者は来られず、国内居住者のみの参加でした。今年のテーマは「Connecting to a Sustainable Future (持続可能な未来へ繋ぐ)」で、「サステナブルコーヒー」、環境配慮型の資材・容器、ナチュラル素材の飲料など、SDGs関連商品が多く見られました。器具関連では有名パリスタの監修商品・おすすめ商品が出品され、本人が独自の抽出理論を語りながら商品紹介するブースでは、多くの人が熱心にメモを取る姿が。コロナ禍で自分でコーヒーを淹れる人が増え、家庭用ドリッパーやコーヒーミルが注目されていました。お客様のビジネス成功につながるよう、展示会で得た情報を還元していきます。



オリジナルドリッパーバッグコーヒーを作ませんか？

今月中旬から弊社にてドリッパーバッグコーヒーを製造開始！今回はその活用方法をご紹介します。

1 コーヒーが選べる

充填するコーヒーは弊社が取り扱う全てのコーヒーからお選びいただけます。もちろんブレンドも可能です！

2 オリジナルデザインでパッケージが作れる

お客様で制作したデザインをパッケージにできます。弊社でデザインも承りますので、お気軽にご相談ください。※1000袋～

3 フィルターの形状が選べる

開封してお湯を注ぐドリッパー式と、お湯に浸けるタンク式の2種類から選択可能です。充填量は8g～12gの間で指定いただけます。



つまり オリジナルドリッパーバッグコーヒーが製品化できます！

コーヒーもパッケージも自由なので、100%オリジナルのドリッパーバッグコーヒーが完成！ハウスブレンドの製品化をはじめ、記念品やノベルティの製造もお任せください。詳細は営業担当よりご案内いたします。

バレンタインドリッパーコーヒー & 珈琲チョコ

毎年好評のバレンタイン限定「ドリッパーコーヒー」「珈琲チョコ」のご紹介です。ドリッパーは“コーヒーでありがとうの気持ちを伝える”をコンセプトに、メッセージを記入できるスペースを用意しました。バレンタイン以外のシーンでもご活用いただけます。バレンタインを演出する素材としてみませんか？



◀ バレンタイン限定
ドリッパーコーヒー
1セット(6杯分)～
※デザインは1種類



◀ 珈琲チョコ
1袋(100g)×5袋～
※既にお取り扱いのお客様には、
バレンタインシール1シート(12枚)
をご用意しています。

2021年 コーヒー業界重大ニュース(全日本コーヒー協会)

- 1 ブラジルの主産地の霜害、世界景気の回復見通し等から、ニューヨークコーヒー相場は10年ぶりに250セントを超えるなど高値水準が続き、レギュラーコーヒーを中心に価格改定
- 2 2020/21年度の世界のコーヒー消費量は、先進国を中心とする新型コロナウイルス感染症関連の規制解除に伴い、前年度比1.9%増となり、一昨年の水準を回復する見込み。一方、日本の消費量は前年度並に
- 3 全日本コーヒー協会(全協)、業界を取り巻く環境変化を踏まえ、事業等を抜本的に見直し。フルリニューアルしたホームページを基幹媒体とした広告事業を中心に、安全安心、SDGs・環境対応を強化
- 4 多様化する需要に対応し、パーソナル、健康訴求の商品の投入が相次ぐ
- 5 カフェブランド商品への注目の高まりや、環境配慮型商品の広まりなどの要因も加わり、国内家庭用レギュラーコーヒー市場は好調に推移
- 6 サスティナブルなコーヒー生産に貢献する様々な活動を活発化。生産地での品質向上に向けたコンテスト、農事支援、抽出後コーヒー粉の有効活用
- 7 コロナ禍で喫茶店、カフェのテイクアウト、デリバリーが増加、非接触カフェも話題に
- 8 人同士の接触・外出が制限される中、喫茶店、カフェの空間価値が若年層にも浸透
- 9 「10月1日は国際コーヒーの日」の認知度アップを目的とし、SNSを活用した「レギュラーコーヒーフェア2021」を開催、昨年を上回る応募数で好評
- 10 ロベルト・ベレスFNC総裁が旭日重光章を受賞。日本とコロンビアのコーヒー業界の発展に貢献
- 11 日本インスタントコーヒー協会と日本家庭用レギュラーコーヒー工業会を、全協への集約・統合。全協アドバイザーボードIC部会と同家庭用RC部会を設置し、より情報発信力を強化
- 12 6月、改正食品衛生法施行でHACCP制度完全実施。全日本コーヒー商工組合連合会は研修会をリアルとオンラインで開催



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

2月のおすすめ

ABS オレンジ ブルボン

エルサルバドル



世界トップクラスの女性農園主が認める高品質コーヒー

エルサルバドルは、中央アメリカ中部に位置し、最近ビットコインを法定通貨にしたことで話題になりました。ABS(アイダバトルセレクション)とは、世界トップクラスの品質と知名度を持つ女性農園主アイダ・バトルさんがエルサルバドル国内から高品質なコーヒーを見極め、基準を満たした農園に与えられた称号です。アイダさんは、生産者に代わり販路を開き、品質向上と生産者のモチベーション維持に努め、持続可能な取り組みを推進しています。通常コーヒーの実は熟すと赤くなりますが、オレンジブルボンはその名の通り鮮やかなオレンジ色に熟します。ハッキリとしたすつと引いていく後味と柔らかな甘酸っぱいコーヒーです。



抽出方法 **ペーパー** **サイフォン** **ネル**

詳しくは営業担当までお問い合わせください。



ボン・ボヤージュ

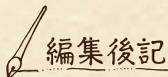
コーヒー新時代を目指して -25-

大西洋岸のブラジルから6000m級のアンデス山脈を越え太平洋岸の南米第3位の面積を占めるペルーに入った。入国と同時にペルーコーヒー院を訪問し「ペルーコーヒーについて」のレクチャーを同世代かと思われる、うら若きベルアーナから受けた。ペルーコーヒーの生産・流通・品質管理等の説明を受け、最後は「ペルーコーヒーは世界一の品質である。よって日本でも、もっと使って欲しい」との締めであった。この言葉は、これから始まる産地巡りでは、どの国のコーヒー関係者からも異口同音に発せられる言葉であった。

当時、日本でのペルーコーヒーの位置地付けは高地産水洗アラビカとして豆サイズもS16～S18の大粒で、味もマイルドなことからコロンビアに次いでの人気の商材で、多くの業者のブレンドには欠かせないコーヒーであった。

弊社でも今世紀に入って、「有機アト・アンデスコーヒー」(ペルー北部カハマルカ地区のマラニョン渓谷、標高1300～1700mの高地で栽培・アーモンドを思わせる、程よい甘さとコクが特徴)を販売しているが、バランス良いマイルドな味が評判で売れ筋商品に育っている。

(会長 服部卓也)



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年半ばから始まった編集後記。田中の何気ない日常を今年も見守っていただけたら幸いです。これからはCCSNewsをより良い誌面にしていけるように努めてまいります。本年もよろしくお願ひ致します。